



てひきの松

No.2

余 土 小 だ よ り
令和8年7月

大切なこと

～ある幼稚園の園長先生から教わった話～

校長 濱石 一利

乳幼児期の子どもは、親の手のぬくもり、親の目や口の動き、言葉の数々から気持ちや思いを感じ取る。それに応えて、子どもも拙いながらも何とか自分の感情や気持ちを伝えようとする。そんなやりとりを繰り返していくうちに、子どもはさまざまなことを学習していき、表情や言葉で意思疎通できる面白さや楽しさを知り、情緒が安定していく。そして、「人を信頼する」という心の安定にとって一番大切な感情が形成される。こうした経験が十分でないと、人を信頼して「人の話を聞く」という行動、人から言葉と話を聞いて学び、自分の行動をコントロールする力が身につくにくい。

3歳以降になると、「してはいけないこと」を学んでいく。0歳から2歳児までは、まずは「してみたい」「試してみたい」の気持ちと行動を理解し、出来るだけ受け入れて、自己肯定感をしっかり高めてやる。しかし、3歳児になると生活の中で「してはいけないこと」を教え、理解させていく必要がある。子どもは、叱られるというネガティブな経験をしながら、世の中には「してはいけないこと」があることを覚えていく。大人には、なぜしてはいけないかの理由をちゃんと話し、語ってあげる義務がある。

世の中には「してはいけないこと」がいっぱいあるけど、それを守ることでみんなが気持ちよく生活できることを、私は子どもの目を見ながら、じっくり向き合って話し、伝えたいと思っているの。



教務だより

教務主任 宮内 有一

私は、今年度余土小学校に来たばかりです。この3か月間で余土小学校の良いところをたくさん見つけることができました。

- ① 挨拶がよくできます。朝の挨拶、校内での会釈など、出会う度に気持ちのよい挨拶をしてくれる子どもたちは素晴らしいと思います。
- ② 話をしっかり聞くことができます。授業中でも、全校で集まった場でも、静かに話を聞く姿が見られます。
- ③ いろいろな場面で頑張る姿が見られます。入学式などの学校行事、授業中、総体など、意欲的に取り組み、最後までやり遂げる姿が輝いています。

どれも基準は私の個人的なものなので、先生方によっては、「まだまだだよ」とさらに上を目指している先生方もいるかと思うのですが。私もさらなる成長は願っているものの、今「いいね」と思うことは積極的に伝えていければいいなと思っています。

そして、この子どもたちを育てる合言葉は「よどよい子」です。目指す姿がはっきりしていると先生も子どもたちも同じ方向を見て進めるので、より成長が感じられます。

そんな余土小学校の仲間入りした私自身も「よどよい子」（子ではないですが）を目指し、この1年間子どもたちと接していきたいと思っています。

修学旅行だより

6年部主任 柳田 啓子

6年生は、5月24、25日に広島へ修学旅行に行ってきました。昼食の「お好み物語」では、目の前の鉄板で焼き上げたお好み焼きをおいしくいただきました。フェリーに乗船して向かった宮島では、焼き印を自分で押して作る杓子体験、お土産を選んだ商店街散策、アシカショーがかわいい水族館を楽しみました。そして、厳島神社を参拝し、その美しい景観に魅了されました。その日のホテルでは、部屋に布団を敷き詰めて、友達と一緒に過ごしたことがいい思い出になったようです。2日目の平和記念公園でのセレモニーでは、平和への願いを込めて誓いの言葉を述べ、「平和の鐘」を歌い、みんなで作った千羽鶴を捧げました。平和記念資料館では、戦争や原爆の悲惨さを知り、平和を願う気持ちを一層強くしたようです。みろくの里では、アトラクションを思う存分楽しみました。この2日間を通して、友達と協力することの大切さや、歴史や文化について実際に見て学ぶことの楽しさを知ることができました。学んだことを、これから最高学年としての学校生活に生かしていきたいと思います。



集団宿泊活動だより

5年部主任 吉岡 徹

5年生は、6月12日から一泊二日で集団宿泊活動を行いました。松山市野外活動センター（レインボーハイランド）では、雨も降らず、林野火災注意報も出ず、予定していた活動を全て行うことができました。一日目は初めに、カレーライス作りを行いました。班の中でカレー係、ご飯係、かまど係に分かれ、協力して作りました。自分たちの手で作ったカレーライスの味は格別だったようです。午後からは、クラフト教室でオリジナルキーホルダーを作りました。思い思いのイラストを描いた世界に一つのキーホルダーは思い出に残る宝物となりました。夕食後は、キャンプファイヤーで盛り上がりました。みんなで火を囲み、じゃんけん列車やダンスを楽しみました。二日目は、オリエンテーリングを行いました。班で協力しながら施設内を探検し、記号を探したり、ミッションに挑戦したりしながらゴールを目指しました。

この二日間に向けて、子どもたちは「きまりを守ること」、「時間を守ること」、「自分や友達の気持ちを大切にすること」を意識しながら準備を進めてきました。当日も、早めの行動を心掛けるなど集団行動を意識した様子や、友達に優しく声を掛け支え合う姿が見られるなど、成長を感じました。この経験を学校生活に生かすことで、来年度の最高学年に向けてさらなる成長につなげていきたいと思います。

